

令和3年9月11日（土）

第5回 東原摩舎中央校 体育大会 講評

学校長



- テント内のみなさん、聞こえますか？ 教室でリモート映像を見ている皆さん、見えていますか？ 聞こえていますか？ では、少しだけ時間をもらって、一言感想をお伝えしたいと思います。
- 本当は、この体育大会は皆さんのもので、この講評も品川生徒会長のほうがうんと上手に言ってくれるのですが、それは来年の会長に引継いでいただくことにします。よろしくお願いします。
- さて、大会スローガン 「絆 ー我らの青春ここにありー」でした。
- 「絆」とは、断ち切ることのできない「人」と「人」との結びつきです。
- 「人」と「人」とを結ぶ糸は、どちらかが強く引っ張りすぎると、切れてしまいます。つまり、お互いが均等に半分ずつの力で引き合うことで、「絆（きずな）」が保たれるのです。
- 夏休み明けの練習から今日の本番まで、皆さんを見ていて「協力・団結・みんな」という言葉がよく聞こえてきました。
- 各クラス、各団の仲間はもとより、1年生から9年生まで、「お互いがお互いを引きあう力」、「結びつき」が、より固くなり、より強まったのではないのでしょうか。
- それを象徴する一つの場面として、最後の種目「団対抗リレー」で、上級生が

下級生の手を引いて入場してくれた姿に、私はとても感動しました。来年はそういう競技がもっと増えてほしいなあと期待しています。ここも品川生徒会長、引継ぎをよろしくお願いします。

- そして、サブスローガン「我らの青春ここにあり」について。
- 「青春とは人生のある時期のことを言うのではない。心の在り方を言うのだ」という話を、上級生の結団式の際にしました。
- その「心の在り方」とは、例えば「新しいものを生み出そうとする意欲」であり、「強い意志」であり、「恐れぬ心」であり、「チャレンジしようとする心」、などなどです。
- 今日もある団の応援歌の中から「やったことのないことをしてみよう」というフレーズが聞こえてきました。まさに「新しいものにチャレンジしている」その姿勢を直接感じました。
- 天候としては、最後まで気をもみましたが、感染症対策や暑さ対策、そして何よりも皆さんの今日までの取組を総括してみると「満点」でした。皆さん一人ひとりが、それぞれの役割を果たし、自分が出場した競技に全力を尽くし、その頑張る姿はとても素晴らしかったです。
- そして、全員で今日の体育大会を作り上げてくれたことに心から敬意を表します。ありがとう。
- 最後になりますが、本日、お越しいただけなかった保護者の皆様、感染症対策の徹底のため、「無観客」にさせていただきました。本当に申し訳ありませんでした。皆様方の御理解とご協力に心から感謝申し上げます。
- 皆様方のお子様方の頑張りはとても立派でした。この場を借りてご報告いたします。
- 今日は体育大会ができて本当に良かった。そのことを全員で喜び、令和3年度中央校として第5回目の体育大会の講評とします。東原摩舎中央校、万歳！